

「平成19年度普及に移す成果」

外観が美しく皮ごと食べられる ブドウ新品种「シャインマスカット」

みんなで進めよう
茨城農業改革

園芸研究所果樹研究室

本県のブドウ経営は、観光直売型が多く、「巨峰」が主力品種となっています。しかし、近年消費者ニーズが多様化し、「巨峰」とは異なる食味の品種や、食べやすい種なしブドウに対する需要も大きくなってきています。そこで、農業・食品産業技術総合研究機構果樹研究所において育成された二倍体ブドウ品種「シャインマスカット」について紹介します。

1. 品種の特徴及び育成経過

- ・果皮は黄緑色で、外観が優れています。
- ・食味は良好で、マスカット香があり肉質は硬めです。
- ・皮が薄く皮ごと食べやすい品種です。
- ・裂果性が少なく、多収で栽培しやすいです。
- ・ジベレリン処理を行っても着粒は密になりにくく、摘粒に労力がかかりません。
- ・収穫期は巨峰よりやや遅いです。
- ・育成経過

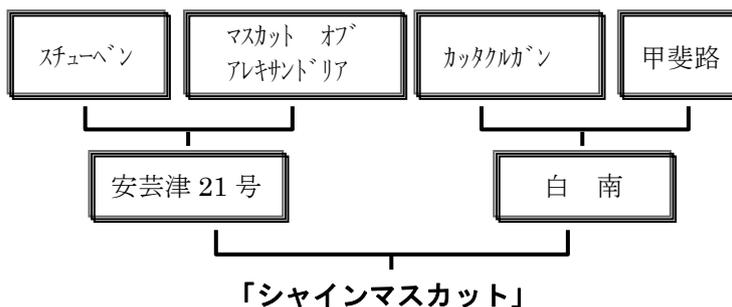


写真. シャインマスカット
(雨よけ栽培・ジベレリン処理)

2. ジベレリン処理による無核栽培

- ・ジベレリン処理を行い、種なしとすることで、皮が薄く皮ごと食べやすいという品種の特性を活かすことができます。
- ・ジベレリン処理を行うと果粒の肥大が良くなり、一粒 13g 以上の大粒になります。
- ・ジベレリン処理のみでは種子が残ることがあるため、ストレプトマイシン処理を行う必要があります (200ppm を満開予定 14 日前～開花始期に散布、または満開期のジベレリン処理に加用)。

3. 栽培の留意点

- ・雨よけ栽培が望ましいですが、耐病性は「巨峰」と同程度で露地栽培も可能です。
- ・縮果症が発生することがあるため、急激な土壤水分の変動が起こらないよう適宜灌水等を行う必要があります。
- ・樹勢の強さを利用し果粒肥大を促進するためには、摘芯等の新梢管理が必要です。
- ・新梢管理や植物調節剤処理などの管理作業が行いやすい、短梢剪定平行整枝が適しています。